

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考						
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価										
				指標	目標値	実績値	指標	目標値	実績値	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②								
巡回・窓口相談指導事業	小規模等細企業は急激な経済環境の変化や政策の影響により企業経営における様々な課題が生じている。これに対応するためには専門的な支援や助言が必要であり、商工会は経営指導や伴走型支援を提供することで健全な企業の育成と持続可能な成長を支援していく。具体的には事業計画策定、金融、税務、労務等の経営全般における支援を行うことで経営改善に資する指導を行うことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 巡回窓口指導 実企業数 211件 巡回窓口指導 延べ件数 791件 課題解決提案件数37件 経営革新承認件数 0件 	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 131.8 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 185.0 %)			巡回窓口での相談対応や各種セミナーの開催、さらに公式LINEを活用した情報発信により、小規模事業者の多様化する課題やニーズに対応し、経営支援体制の充実を回った。とりわけ、前向きに経営改善へ取り組む事業者の掘り起こしに注力し、伴走型支援を通じて具体的な課題解決へと導くことができた。 また、物価高騰や賃上げといった急激な経営環境の変化に関する相談にも対応するとともに、金融相談および融資斡旋が増加する中で、資金繰り支援の強化にもつなげた。加えて、事業承継支援を継続的に実施し、事業者の経営安定化および次世代への円滑な事業承継の推進に寄与した。 一方で、新たな課題として人手不足が顕在化しており、今後はその対策強化や賃上げ対策が求められる。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	本年度は、廃業による会員脱退は継続しているものの純化し、補助金相談は増加傾向となった。一方で、最低賃金の引き上げや原油・材料費の高騰により、経営環境は依然として厳しい状況にある。また、事業者の高齢化や後継者不足に加え、人手不足も深刻化しており、賃上げ対応を含めた雇用確保が課題となっている。今後は、第三者承継の推進や経営計画策定支援、人材確保支援を強化し、持続的な経営改善につなげていく必要がある。
				A	C	現行どおり	現行どおり																
				目標達成度	必要性	実施方法①	実施方法②																
目標値	600	実績値	791	目標値	20	実績値	37	目標達成度	A	必要性	満足度	A	補足	現行どおり	目標①	現行どおり	目標②	現行どおり					
記帳継続指導	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算等の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 事業を進めていく上で、日々の記帳の重要性について理解していただくとともに、決算・申告に結びつく指導を行った。 指導対象者数 77件 指導延べ日数 553日 指導延べ回数 710回 	小規模事業者	指標	指導対象事業者数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			年間を通しての記帳指導と源泉・年調・決算申告の指導を通し、申告納税制度と正しい記帳による正しい申告の重要性を認識してもらえた。 また、e-Taxによる電子申告も多くの事業主がその利便性を認識し、理解が深められた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	自主申告納税制度への理解を深め、正しい記帳・申告を推進し、経営力の向上を支援していく。
				A	A	現行どおり																	
				目標達成度	必要性	実施方法①	実施方法②																
目標値	77	実績値	77	目標値		実績値		目標達成度	A	必要性	満足度	A	補足	現行どおり	目標①		目標②						
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な経営・金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、小規模事業者が抱える経営上の問題点に対応する実務的な講習会及び個別指導会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数及び受講者数 ・集団 4回 56人内、経営革新1回 25人 経営一般3回 31人 ・個別 18回 120人内、金融 1回 6人 税務 17回 114人 	小規模事業者	指標	講習会参加者数 (達成度 98.9 %)			指標	(達成度 %)			小規模事業者の経営等に於いて、必要とされる事項を開催することができ、受講者の資力の向上を図ることができた。個別指導では専門家より指導を受けられ課題解決へと繋がり、経営計画に前向きな姿勢をとれるようになった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	適宜ニーズにあった内容及び時期を思索し開催する。
				A	B	現行どおり																	
				目標達成度	必要性	実施方法①	実施方法②																
目標値	178	実績値	176	目標値		実績値		目標達成度	B	必要性	満足度	A	補足	現行どおり	目標①		目標②						
地域振興事業（観光事業委員会）	渥美半島の観光資源を活かした物産品開発や観光サービスについて調査・研究・開発を行った結果、渥美の観光食文化の位置づけとして、「貝」を取り上げ、平成21年2月14日を皮切りに「貝づくし渥美」をスタート。さらには貝に限らず三方を海に囲まれている渥美半島を「魚」としてもPRしていくための「魚貝づくし(仮称)」を打ちだし、活気ある観光地への位置づけを目指していく。	<ul style="list-style-type: none"> 構成員数36件 協力店全体会議等7回 ・伊良湖刈り鉢 設置看板を活用した販売促進10店舗参加 ・観光客等滞在時間の増加を目指すスタンプラリーの実施(7/19~11/30) ・Sea級グルメ料理の開発(食材を未利用魚を活用した地魚のすり身に決定) ・Sea級グルメ料理お披露目会12/24実施9店舗参加 ・田原市民まつり及び渥美半島菜の花まつりへの参加 	飲食店、宿泊施設を中心とした工商業者	指標	加入件数及び構成員数 (達成度 144.0 %)			指標	(達成度 %)			R7年1月より伊良湖クリスタルボルトに設置した「美味渥美」大型看板は、多くの観光客が立ち寄ることから、旬な情報を配信することに効果的であった。開発したSea級グルメのPRや渥美半島はたらきブランド食材を使った料理など広く周知することで今後の地域振興に一歩前進できることを実感した。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	どのタイミングで何をPRすべきなのか1年を通して旬な食材を選定し分かり易い情報提供を行っていく。飲食店のみでなく製造業・小売業にも波及効果をもたらす取組を検討。
				A	B	上げる																	
				目標達成度	必要性	実施方法①	実施方法②																
目標値	25	実績値	36	目標値		実績値		目標達成度	A	必要性	満足度	A	補足	現行どおり	目標①		目標②						

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考				
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価				今後の展開・改善点等			
				指標	達成度	％	指標	達成度	％	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	調査結果		調査結果			
商工業振興事業（ポイントカード等推進事業）	ポイントカード事業の推進により、顧客確保、商圏内からの購買力の流出防止や大型店対策を図り、商工業者の発展及び地域産業の活性化を図る。	販売促進並びに消費者サービスを目的として、カード事業の宣伝活動及び共同売出し、キャッシュレス現金チャージ等のイベントを開催。 折込チラシ 14回 販売促進イベント回数 27回	事業加盟店	指標	販売促進イベント回数 (達成度 135.0 %)	指標	(達成度 %)	得られた効果	総合評価	B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	調査結果	調査結果	今後の展開・改善点等	備考	
				目標数値	20	実績数値	27	目標数値	実績数値			B		下げる			調査結果	調査結果	今後も田原カード（協組）と連携し、引き続き共同イベントの開催や店舗情報を発信し、新規顧客の確保・購買力の流出防止に努めたい。	
人材育成事業（外国人実習生受入事業）	外国人技能実習生受入企業の活性化と国際貢献を目的として、外国から意欲ある優秀な若者を受け入れ、わが国の優れた「技術・技能・知識」を職場で実際に作業をしながら習得し、帰国後に母国の産業振興に寄与できる人材の育成を図る。	新規受入人数 5人 企業巡回 12回 技能検定試験の実施	渥美商工会員	指標	技能実習生新規受入人数 (達成度 100.0 %)	指標	(達成度 %)	得られた効果	総合評価	B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	調査結果	調査結果	新たな受け入れ企業の発掘に努める。		
				目標数値	5	実績数値	5	目標数値	実績数値			B		上げる			調査結果	調査結果		
青年部事業	青年部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	研修会およびコミュニティ活動の開催、及び地域活性化事業等の本会事業への参加。また、随時、常任委員会を開催。 青年部事業回数 41回	青年部員	指標	事業の開催回数 (達成度 102.5 %)	指標	(達成度 %)	得られた効果	総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	調査結果	調査結果	部員の年齢卒業等で部員数は減少傾向にある。部員による声掛け、新入部員候補者を青年部事業に招待する等、会員増強に繋げる。また令和8年度は役員が新体制になるため、新規事業を企画・開催し、部員数の増加青年部員資質の向上を図る。		
				目標数値	40	実績数値	41	目標数値	実績数値			B		現行どおり			調査結果	調査結果		
女性部事業	女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	コミュニティ活動の開催、及び視察研修等の企画、立案等。また、随時、常任委員会を開催。 女性部事業回数 19回	女性部員	指標	事業の開催回数 (達成度 95.0 %)	指標	(達成度 %)	得られた効果	総合評価	B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	調査結果	調査結果	部員の高齢化と事業の廃業等による部員数は減少傾向にある。魅力ある企画と事業を充実させ部員増強に繋げたい。		
				目標数値	20	実績数値	19	目標数値	実績数値			B		現行どおり			調査結果	調査結果		
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告・納付（3期）を、労働保険に関する各種届出の事務を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。	算定基礎賃金報告書に基づき労働保険料の申告・納付（3期）。労働保険に関する各種届出の事務。巡回・窓口指導など従業員把握とともに、加入促進。 委託事業所数 54件	従業員を雇用している商工業者	指標	委託事業所数 (達成度 105.9 %)	指標	(達成度 %)	得られた効果	総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	調査結果	調査結果	e-Gov電子申請アプリの導入により事務処理の効率化も図られた。一方で、事業者の廃業や人手不足は依然として課題となっている。今後も継続的な加入促進に努め、会員数の維持と安定した組織運営を目指していきたい。		
				目標数値	51	実績数値	54	目標数値	実績数値			A		上げる			調査結果	調査結果		

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考						
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等							
				指標	各種事業の回数 (達成度 165.0 %)		指標	(達成度 %)		総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度		補足	目標①	目標②			
税務関係団体指導事業（法人会事業）	法人会の税務支援・地域貢献の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	法人会本部及び関係団体との情報交換や連携を密にし組織強化を図った。 本部事業 17回 本部事業研修会 1回 支部事業 10回 支部事業研修会 4回 支部事業社会貢献事業 1回	法人会会員	指標	各種事業の回数 (達成度 165.0 %)		指標	(達成度 %)								支部事業を実施することで、地元経営者への税務の啓発を図った。その他に源泉および年末調整の指導会を開催。管内の小学校新一年生への「れんらくちょう」を配布し、法人会活動のPRを図った。	総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度
税務関係団体指導事業（青申会事業）	青色申告会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	源泉徴収事務、年末調整事務、決算・確定申告事務の指導会、税務講習会を開催。連合会及び関係団体との情報交換や連携を密にし組織強化を図った。 役員会等 4回 税務講習会 1回 税務指導会 17回 連合会及び関係団体への出席 22回	青色申告会会員	指標	各種事業の回数 (達成度 146.7 %)		指標	(達成度 %)		所得税を中心とした、源泉や年末調整、決算書作成及び消費税等、年間をとおしての指導会の開催により会員の方の税知識の向上を図るとともに、実際の申告等の業務においても円滑な処理を行うことが出来た。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	解散予定当会を取り巻く環境の変化、会員数の減少やそれに伴う役員および総代の担い手不足、会が推進してきた自主記帳・自主申告の浸透などにより会の存在意義を鑑み、税務支援体制を見直す。		
若手後継者等育成事業	若手後継者である青年部員が、地域経済の発展（マクロ）と小規模事業者の持続的な発展（ミクロ）の両面から、その課題解決に向けた取り組みを行うことで、地域経済の中心を担っていく者としての資質の向上を目的とする。	・鳥羽伊良湖観光交流事業 第1回：応募期間 8月18日～11月30日 応募数：468通 第2回：応募期間 1月21日～3月15日 応募数：358通 ・事業承継セミナー 参加者数10名	一般参加者 小規模事業者	指標	友情クイズ応募者数 (達成度 826.0 %)		指標	事業承継セミナー参加者数 (達成度 66.7 %)		広域的な連携を行うことで、田原市の魅力的な地域資源をより広くPRし、地元客はもちろん、観光客の取り込みができた。青年部員が地域経済の問題に対し常に意識を持つ感覚を養い、解決に向けた経験を得ることで、地域経済の中心を担っていく者としての資質の向上を図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	鳥羽伊良湖航路で繋がっている鳥羽市、鳥羽商工会議所青年部との交流を再構築し、交通機関である伊勢湾フェリー乗船客の増加を目的とした企画を実施する。今後も、持続的に実施可能な企画を考えていく。		
				目標数値	20	実績数値	33	目標数値		実績数値				B	事業実施評価の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	
				目標数値	30	実績数値	44	目標数値		実績数値				A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	
				目標数値	100	実績数値	826	目標数値	15	実績数値	10			A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。